

# 入学者と志願者の確保を目的とした マッチングアプリの開発

グループ5

# 課題

## 大学経営の観点

- 18歳未満の人口減少を受けて、各大学の志願者・入学者の減少が懸念されている
- 未来の学生に、より良い学習環境や学習コンテンツを提供するためには、大学経営の健全化は最優先事項である
- 今後はDXの力を用いてより効率的で効果的なプロモーションをしていきたい
- 入学前イメージとのギャップによる退学者をなくしたい

## 教員と受験生のマッチングアプリ

チャットボットで知りたい情報を検索

<検索欄>

- ・教授名
- ・科目名
- ・興味のある学問分野
- ・将来の目標



生成AIより、マッチする教員や研究室の回答

受験生は興味のある教授に関連する内容を質問することが可能

面談を希望する教授を検索、面談を申請



教員とのオンライン面談を実施

受験生が「学びたいこと・なりたい人材」に関して質問し、大学とマッチしているかを確認することが可能。

- ・各大学でどのようなことを学べるのかを知ったうえで入学できる
- ・パンフレットでは知れない現場の声を聞ける

# 機能

## 会話手段

## マッチング手段

マッチング

チャットボット

- 受験生が会話ベースで質問
- シラバスの情報を生成AIに学習させたうえでおすすめの教授や学部を紹介

オンライン会話

教授・科目検索

- 受験生が知っている情報を基に、詳細な情報を紹介

オープンキャンパス  
研究室訪問

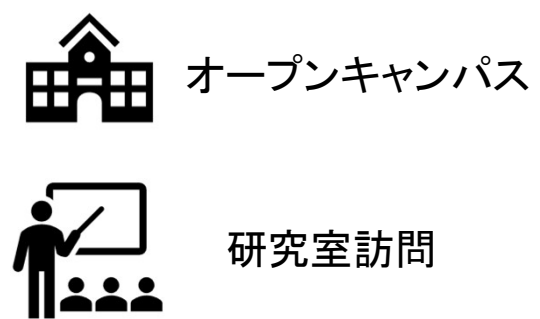
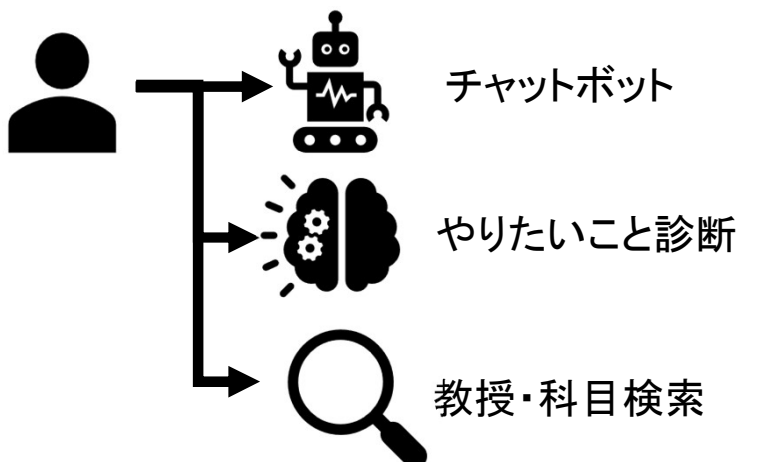
やりたいこと診断

- mbti診断や関大のCamProMapのように受験生が回答した診断結果を基におすすめの教授や学部を紹介

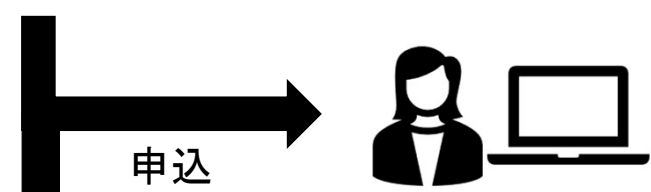
# フローチャート



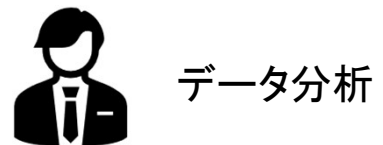
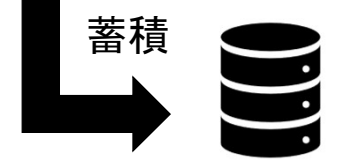
受験生



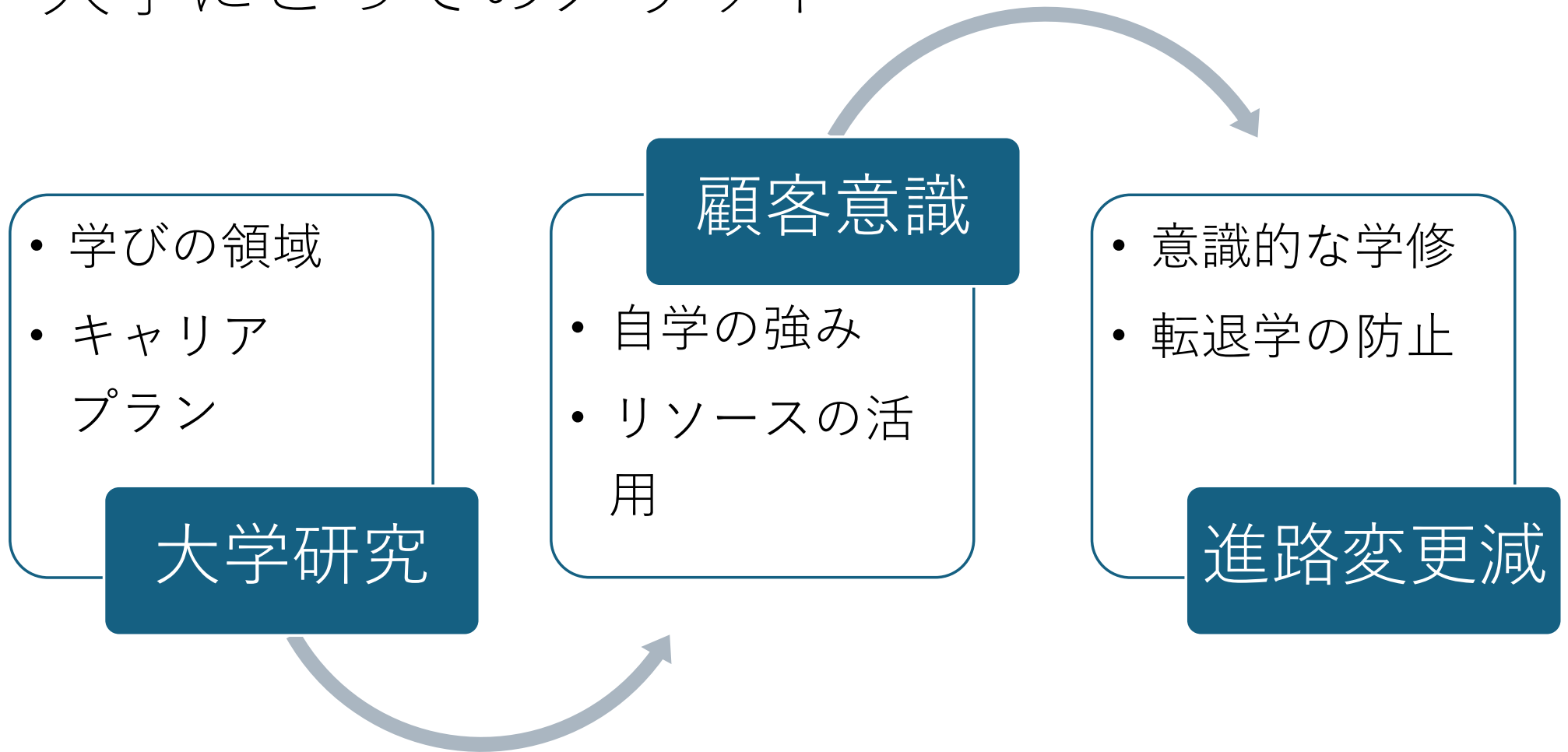
教員



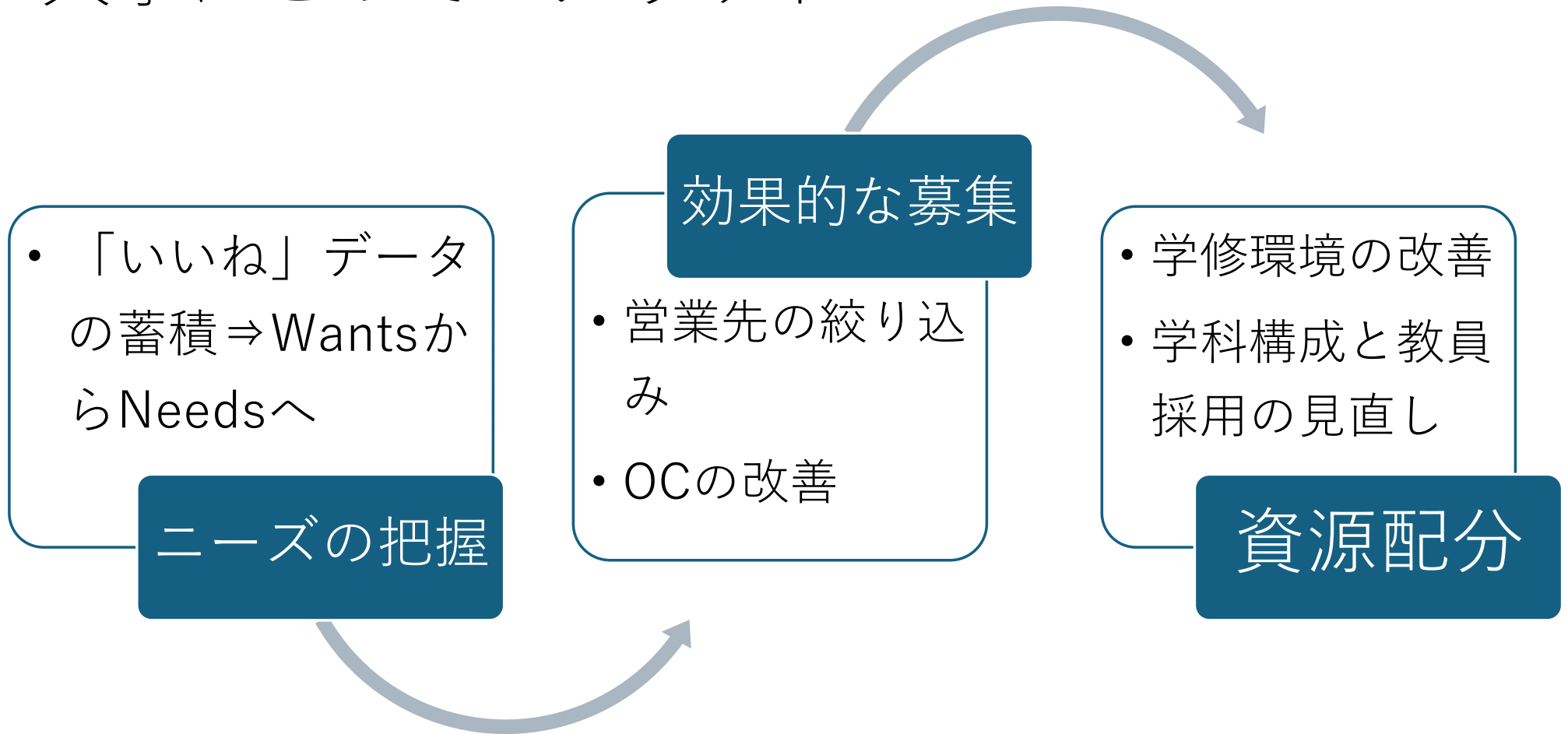
職員



# 大学にとってのメリット



# 大学にとってのメリット



ご清聴ありがとうございました

グループ5